

「関西ダイアログ2024」参加者を募集します！

～関西の将来について、一緒に考えてみませんか？～ 《3月19日開催》

これからの時代を担う若い世代の皆様、**2050年、関西がどのようになっているかイメージしたことがありますか？**コロナ禍やデジタル化を経験している同世代の人々が、将来の暮らし方や働き方、地域のあり方についてどのような不安を抱き、どのような未来を期待しているのか一緒に対話し、国土づくりのビジョンを考えてみませんか？

- 近畿地方整備局・近畿運輸局では、総合的かつ長期的な国土のあり方を示す国土形成計画「新たな関西広域地方計画」について、検討をおこなっています。
- 新たな関西広域地方計画の検討にあたって、これからの時代を担う若い世代が参加し、関西の将来について、対話を通じて一緒に考える「関西ダイアログ2024」を開催します。
- 対話のテーマは、「関西の好きなところ、改善して欲しいところ、他の圏域と比べて関西が優れているところ、逆に劣っているところは何か。」「これから関西に住み続けるにあたって必要なことは何か。」の2つです。

募集内容 ※詳細は、添付資料をご覧ください

- 開催日時：令和 6 年 3 月 19 日（火） 15 時～17 時
- 開催場所：近畿地方整備局 大手前合同庁舎
会場の詳細は、参加者に事前に連絡いたします。
- 対象年齢：18 歳以上 30 歳以下（令和 5 年 4 月 2 日時点）
- 募集期間：令和 5 年 12 月 26 日（火）～令和 6 年 2 月 9 日（金）正午まで
- 参加費：無料（会場までの交通費、事前説明会にかかる通信機器・通信費用等は**参加者のご負担**となります。）
- 定員：約 30 名。応募多数の場合は、居住地域や 100 字コメント等を参考に事務局で選考し、2 月 22 日（木）までに選考結果をメールでご連絡いたします。
- 各グループの司会・進行は応募いただいた方の中から事務局で選出し、選考結果送付時にお知らせします。
- 事前説明会をオンラインで開催いたします。所要時間は 30 分程度です。
- 3 月 19 日（火）は、報道関係者のみ公開とし、報道関係者の取材登録は 3 月に行います。
- 後日、YouTube にて配信を予定しております。

応募方法

- 以下の URL、もしくは右の QR コードを読み取って、応募フォームに記入してください。

＜URL：https://form.run/@kansai-dialogue-XIT50me58x9iXCP3QCoZ＞



＜取扱い＞

＜配布場所＞ 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

＜問合せ先＞ 国土交通省 近畿地方整備局 近畿圏広域地方計画推進室

近畿地方整備局 企画部 事業調整官 高橋 雅樹（たかはし まさき）

企画部 広域計画課長 大國 喜郎（おおくに よしろう）

TEL：06-6942-4090

関西ダイアログ2024

～関西の将来について、一緒に考えてみませんか？～

これからの時代を担う若い世代の皆様、**2050年、関西がどのようなになっているかイメージしたことがありますか？**
コロナ禍やデジタル化を経験している同世代の人々が、将来の暮らし方や働き方、地域のあり方についてどのような不安を抱き、どのような未来を期待しているのか一緒に対話し、国土づくりのビジョンを考えてみませんか？

2024.3.19 (火)
15時～17時

参加費無料(交通費等は参加者負担)

対象年齢:18歳以上30歳以下
(令和5年4月2日時点)

後日、YouTubeにて配信予定



開催場所:近畿地方整備局 大手前合同庁舎(最寄り駅:OsakaMetro 谷町四丁目駅)
〒540-8586 大阪市中央区大手前3-1-41

国土形成計画 関西広域地方計画は、幅広い分野について国土の将来ビジョンを描き、その実現を推進するためのグランド・デザインです。

現在、2050年を見据え、総合的かつ長期的な国土のあり方を示す新たな計画の検討を進めています。

関西ダイアログ2024は、若者同士で将来の国土のあり方について対話を行うことを目的としたイベントです。

<計画の対象となる分野の例>



防災・減災



観光



環境



地域



交通

<本イベントの対話のテーマ>

①関西の好きなところ、改善して欲しいところ、他の圏域と比べて関西が優れているところ、逆に劣っているところは何か

キーワード:

#観光 #交通 #暮らし
#地域環境 #産業
#文化、教育 #格差



②これから関西に住み続けるにあたって必要なことは何か

キーワード:

#防災・減災
#まちづくり #デジタル

お申込み・お問合せ

◆下記申込フォームもしくはQRコードよりお申し込みください

<https://form.run/@kansai-dialogue-XIT50me58x9iXCP3QCoZ>

◆募集期間:令和5年12月26日(火)～令和6年2月9日(金)正午

◆問合せ先:国土交通省 近畿地方整備局 企画部 広域計画課

TEL:06-6942-4090

応募フォームはこちら



■ ダイアログの進め方：概要

「関西ダイアログ2024」を開催

国土形成計画 関西広域地方計画は、都市・地域や交通、産業、環境、防災・減災など人々の生活に関わる幅広い分野について、国土の将来ビジョンを描き、その実現を推進するための**ランド・デザイン**です。

現在、国土交通省近畿地方整備局・近畿運輸局では2050年を見据え、総合的かつ長期的な**国土のあり方を示す新たな国土形成計画 関西広域地方計画**の検討を進めています。

関西ダイアログ2024は、将来の活躍が期待される若者同士で**将来の国土のあり方について対話**を行うことを目的としたイベントです。

対話テーマは、「**関西の好きなところ、改善して欲しいところ、他の圏域と比べて関西が優れているところ、逆に劣っているところは何か。**」「**これから関西に住み続けるにあたって必要なことは何か。**」の2つとしました。

<国土形成計画が対象とする分野の例>

都市・地域、交通、産業、環境、
防災・減災、国土強靱化、暮らし、
文化、観光、情報通信など

開催日時: 令和6年3月19日(火)15時～17時

開催場所: 近畿地方整備局 大手前合同庁舎

対象年齢: 18歳以上30歳以下

(令和5年4月2日時点)

募集期間: 令和5年12月26日(火)

～令和6年2月9日(金)正午

参加費: 無料(交通費等は参加者負担)

応募URL: <https://form.run/@kansai-dialogue-XIT50me58x9iXCP3QCQz>



<本イベントの対話のテーマ>

① **関西の好きなところ、改善して欲しいところ、他の圏域と比べて関西が優れているところ、逆に劣っているところは何か**

キーワード:

#観光 #交通 #暮らし
#地域環境 #産業
#文化、教育 #格差

② **これから関西に住み続けるにあたって必要なことは何か**

キーワード:

#防災・減災
#まちづくり #デジタル



大阪平野を形成する淀川
(出典:近畿地方整備局)



姫路城
(出典:公益社団法人ひょうごツーリズム協会)



琵琶湖湖岸の葦
(出典:滋賀県提供)



住宅に近い六甲山
(出典:神戸市)

応募からイベント当日までの流れ

応募

1 2月26日(火)～
2月9日(金)正午締切
対象年齢は18歳以上30歳以下

「これから関西に住み続けるにあたって、必要なこと」について**100字以内のコメント**を記載

選考

応募多数の場合、居住地域、100字コメント等を参考に事務局で選考

2月22日(木)までに選考結果をメールで通知
参加いただく方には、事前説明の日時や、
イベント会場の詳しい場所もメールでご連絡いたします
選考メール結果が届かない場合は
必ず2月26日(月)までに連絡をください

事前説明の受講

2月27日(火)～3月1日(金)

選考された約30名の方々に、事前にWEBでの30分程度の事前説明を実施
同じ内容の説明を約5回実施予定です
当日の流れも説明しますのでいずれかの回に必ず受講してください

※通信機器・通信費等は参加者の負担となります



イベント当日

3月19日(火)
15時～17時

※交通費は参加者の負担となります



【本イベントの趣旨】

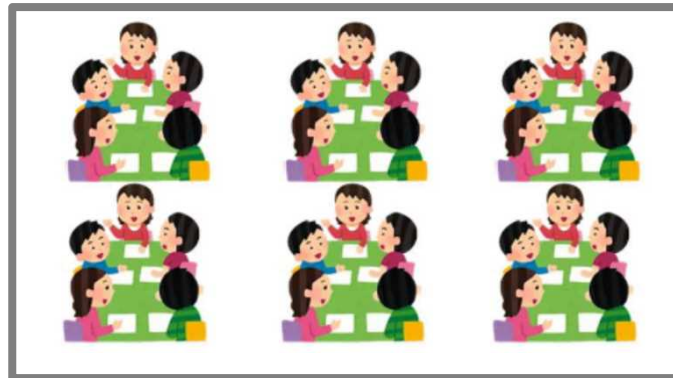
- これからの国土にどのような不安を持っているか、どういう国土にしていきたいか、期待や想像していることを若者の視点で同世代の人たちと対話していただきます。
- 「議論」や「討論」ではないため、自分たちの意見を固める必要はなく、「Dialog = 対話」によって新たな気付きや発見を見出し、意見を形成するイベントです。
- 対話テーマは「関西の好きなところ、改善して欲しいところ、他の圏域と比べて関西が優れているところ、逆に劣っているところは何か。」と「これから関西に住み続けるにあたって必要なことは何か。」です。

イベント当日

全体の流れについて(5分)



対話ステージ(65分)
(自己紹介5分+テーマ①25分+
テーマ②25分+プレゼン準備10分)



約5人ずつの
グループで対話

プレゼンステージ(30分) ※



各グループで議論した課題や方向性を
3分以内のショートプレゼン×6グループ(=18分)
プレゼンの後、他グループから質問(12分)

- ・各グループの司会・進行は公募の中から予め選出
- ・プレゼン者、記録係は当日グループの中から選出
- ・若手国交省職員が各班に1名ずつ配置

ラスト対話(15分) ※

時間が許す限り自由に発言
(1回につき、2分以内)

まとめ(5分) ※

主催者から「ま
とめ」と今後の
シンポジウムの
説明

※ 後日、YouTubeにて配信を予定しております。(半年間公開予定)